

文化振興の拠点となる「文化ゾーン」の整備～公立文化施設の再活用～に対する支援

【担当省庁】総務省、文部科学省（文化庁）

奈良県における取組

1. 文化活動の振興

○ムジークフェストならの開催

「音楽で、奈良を元気に」という思いから2012年にスタート。社寺や音楽ホール、街中のカフェなど県内各地の様々な場所でコンサートを開催。

○みんなでのたのしむ大芸術祭の開催

文化活動により障害のある人もない人も世代を問わず共に楽しみ、絆を深めるため、全国で初めて「第32回国民文化祭・なら2017」及び「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を一体開催。その後も、**継続して一体開催**。

○奈良県立ジュニアオーケストラの設立

奈良県知事の荒井正吾を団長として、2011年6月12日に結成。

他に類をみない県立のジュニアオーケストラで、毎週末奈良県文化会館において練習に励み、定期演奏会をはじめ有名な演奏家との共演も多数経験する中、世界的な音楽家を目指す団員が出て来ている。

2. 文化振興の拠点となる文化ゾーンの整備

○整備の概要

■奈良県における文化活動を一層振興し、地域の賑わいづくりや地域活性化を図るための整備

世界遺産に隣接する奈良公園のゲートウェイ空間に位置する奈良県文化会館・美術館及びその周辺地域を**文化的雰囲気**が**一体的に醸成される「文化ゾーン」と捉え、文化振興の拠点施設を整備**

【奈良県文化会館】

「**音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂**」として増築・改修整備

- ・「音にこだわる」をテーマとした音楽ホールの整備（増築）
- ・音楽ホール機能に付随する練習用スタジオ、楽屋等の整備（改修）
- ・国際ホールの刷新（改修）等

【奈良県立美術館】

文化ゾーンにおける展示施設としてふさわしい増築・改修整備



ジュニアオーケストラとロシア・ナショナル管弦楽団との共演（2015年）

